

1 上下水道局平成23年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

水道料金及び下水道使用料については、景気悪化の影響による減収傾向が今後もしばらくは続くと思込まれます。一方、上下水道事業は給水開始や供用開始から100年を迎えようとしており、浄水場・配水管などの水道施設及び水処理センター・下水管などの下水道施設の老朽化や地震対策、また緊急雨水整備事業をはじめとする浸水対策や高度処理による水環境の向上など、安定的な事業運営のために早急に取り組むべき課題が山積しています。

このように上下水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがありますが、引き続き行財政改革をすすめ経営基盤の強化に努めます。

(2) 主要事業

①浄水場や配水場などの整備・改良（水道事業）

創設期から100年近くが経過している鍋屋上野浄水場緩速ろ過池及び東山配水場2号配水池をはじめ、老朽化した浄水場や配水場などの施設を整備改良し、おいしい水を安定的に供給するとともに、地震等災害に対する安全性の向上をはかります。

②配水管の布設替及び耐震化（水道事業）

老朽化した配水管の布設替及び耐震化をはかるとともに、救急病院や透析医療機関などの重要給水施設に至る管路の耐震化をすすめます。

③下水道未整備地域の解消（下水道事業）

下水道未整備地域の解消のため、庄内川西部地区、志段味地区及び桶狭間地区等において、区画整理事業等との整合をはかりながら、引き続き下水道の整備をすすめます。

④大雨からまちを守る施設の整備（下水道事業）

平成12年9月の東海豪雨や平成20年8月末豪雨などにより著しい浸水被害が集中した地域及び都市機能の集中する地域において、引き続き雨水貯留施設の建設や雨水ポンプの増強等を推進します。また、その他の地域においても雨水調整池の整備及び雨水ポンプの増強をすすめます。

⑤老朽化した下水道施設の改築更新（下水道事業）

老朽化した露橋水処理センターの全面改築や、老朽化の著しい宝神汚泥処理施設に替わる施設として空見スラッジリサイクルセンター（仮称）の施設整備などをすすめます。

⑥水環境の向上（下水道事業）

汚れの度合いが高い降り始めの雨水を一時的に貯留する雨水滞水池の設置や河川へのごみの流出を防止する下水道の雨水吐口へのごみ除去装置の設置などを実施し、河川へ放流する雨水の水質を改善します。また、河川や海の水質保全のため窒素、りん除去率を高める高度処理施設を水処理センターに導入します。

⑦経営の効率化（水道事業・下水道事業）

現在の各営業所一律の所管業務を見直し、集約化（平成23年度は東・熱田営業所を見直し、中・中川営業所に集約）をすすめることや、有人の親局ポンプ所を水処理センターからの集中管理に順次切り替えることなどにより、業務の効率化をはかります。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成 22年度 予算額	平成 23年度 予定額
1	千種営業所新事務所 建設工事	営業所体制の見直しに向けた、現 在仮設事務所で業務を行っている 千種営業所の新事務所の建設	—	533
2	東配水事務所整備工 事	配水管と下水管の効率的な管理と 業務の集約化に向けた、東配水事 務所の整備	—	151
3	朝日取水場施設整備 工事	施設管理の効率化をはかるため、 大治浄水場からの一体的な管理に 向けた、朝日取水場の整備	250	508
4	送・配水幹線の計画的 内面清掃	安全でおいしい水を安定的に供給 するための東春送水幹線（鳥居松 ～庄内川間約3.5 k m）等の内面 清掃	—	135
5	取水場からじゃ口ま での塩素濃度などの 調査・検証	安全でおいしい水を安定的に供給 するための残留塩素濃度・水温変 化の実態調査及び流達時間の短縮 に向けた検証	—	36

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成 22年度 予算額	平成 23年度 予定額
6	汚泥輸送管の整備	下水を処理する際に発生した汚泥 を安定的に輸送処理するための老 朽化した汚泥輸送管の整備	30	143
7	道路陥没の防止のた めの下水管調査	集中豪雨に起因する老朽化管きよ による道路陥没が増加しており、 その対策としての地上からの空洞 調査や下水管内部からの調査の強 化	307	432

(4) 平成23年度水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 増 △	引 減
収 入	給 水 収 益	47,331	47,976	△	645
	そ の 他	4,391	3,853		538
	計 (A)	51,722	51,829	△	107
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	29,461 (10,329)	29,697 (10,723)	△ (△)	236 394)
	資 本 費	20,198	19,923		275
	消 費 税 等	1,575	1,640	△	65
	計 (B)	51,234	51,260	△	26
A - B		488	569	△	81

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 増 △	引 減
収 入	企 業 債	5,000	5,000		—
	出 資 金	264	276	△	12
	そ の 他	2,012	2,125	△	113
	計 (A)	7,276	7,401	△	125
支 出	建 設 改 良 費	18,510	17,452		1,058
	企 業 債 償 還 金	6,029	6,104	△	75
	そ の 他	2,903	2,864		39
	計 (B)	27,442	26,420		1,022
A - B		△ 20,166	△ 19,019	△	1,147

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(5) 平成23年度工業用水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 増 △	引 減
収 入	給 水 収 益	844	839		5
	そ の 他	13	24	△	11
	計 (A)	857	863	△	6
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	326 (25)	319 (25)		7 (-)
	資 本 費	465	477	△	12
	消 費 税 等	26	27	△	1
	計 (B)	817	823	△	6
A - B		40	40		-

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 増 △	引 減
収 入	出 資 金	3	5	△	2
	そ の 他	263	66		197
	計 (A)	266	71		195
支 出	建 設 改 良 費	503	330		173
	企 業 債 償 還 金	49	32		17
	そ の 他	198	135		63
	計 (B)	750	497		253
A - B		△ 484	△ 426	△	58

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(6) 平成23年度下水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 引 増 △ 減
収 入	下水道使用料	34,044	34,326	△ 282
	一般会計負担金	38,343	39,098	△ 755
	そ の 他	2,346	2,126	220
	計 (A)	74,733	75,550	△ 817
支 出	維持管理費 (うち人件費)	25,362 (7,254)	25,345 (7,520)	17 (△ 266)
	資 本 費	47,384	48,173	△ 789
	消 費 税 等	1,469	1,473	△ 4
	計 (B)	74,215	74,991	△ 776
A - B		518	559	△ 41

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 予 定 額	平成22年度 予 算 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	32,010	26,073	5,937
	国庫補助金	12,238	11,876	362
	そ の 他	1,203	1,820	△ 617
	計 (A)	45,451	39,769	5,682
支 出	建設改良費	46,966	47,302	△ 336
	企業債償還金	38,055	32,811	5,244
	そ の 他	277	185	92
	計 (B)	85,298	80,298	5,000
A - B		△ 39,847	△ 40,529	682

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。